

卒業生相互・学院との連携のための 架け橋としてがんばります!



会長 平泉 憲一

創立130周年を迎える学院では、新キャンパス(大学・茨木中高・小学校新東館)建設工事を着々と進めるとともに、全学をあげた教学改革に取り組んでいます。就学人口の減少が確実である中で学院の積極的な取組に対して、卒業生としても最大限の協力していきましょう。卒業生の協力とは、寄付等の協力も重要ですが、卒業生が培った資質・能力・経験・スキル等を学院や児童・生徒に還元することこそ卒業生にしかできない恩返しではないでしょうか。そして各人の恩返しに卒業生相互に拡大したとき、学院にとっても卒業生にとっても素晴らしい力となることでしょう。私たち山桜会は、このような力の結集を実現する架け橋となれるように、本年度もみなで楽しく活動して参ります。私たちの活動は、随時ホームページにてお知らせしておりますので、どうか山桜会の活動に皆さまのお力をお貸しください。

未来志向の山桜会に!



理事長・学長
川原 俊明

本学は、今年、学院創立130周年を迎えます。平泉会長をはじめとする山桜会の皆様がたには、日頃から母校を支え、かつ、さまざまな御支援をいただき、誠に感謝申し上げます。来年4月には、茨木の新キャンパスに中高が全面移転。小学校は新東館(メディアラボ)が竣工。これを機に、追手門学院は、時代を先取りする新教育を全面展開し、教育の質を大幅に向上させます。このような開学以来の大きな挑戦ができるのも、山桜会をはじめとする多くの卒業生のおかげです。私学にとって卒業生は輝く人財であります。本年11月7日、大阪城ホールで記念式典を挙行します。皆さんとともに、学院の未来像を描きましょう。ぜひ御参加ください。

追手門学院

ご挨拶



追手門学院大学教授
東田 充司

(前 追手門学院小学校 校長)

追手門学院校友会山桜会の皆様には、日頃より教育活動の推進に対して、多大なるご理解とご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

小学校長2期6年の任期満了に伴い、本年度より追手門学院大学基盤教育機構教授に異動となりました。追手門学院小学校での36年間、公私ともに格別のご厚情とご指導を賜りました。誠にありがとうございました。どうか引き続き、母校へのご声援をよろしく願い申し上げます。

皆様方は、大阪借行社附属小学校からの旧校舍図書室に設けられていた片桐文庫を覚えていらっしゃるでしょうか。片桐武一郎第8代校長からいただいた浄財を原資に整備し、東館図書館に移設後も、笑顔のお写真と共に長く子どもたちに親しまれてきたものです。



来年3月末には、創立130周年記念事業として新東館(メディアラボ)が竣工いたします。徹底した英語学習が行え、ICTを存分に活用するなど未来型学習空間の専用教室棟として、日本の教育界を牽引する施設になるものと自負しております。天下の名門校としての揺るぎない地位を築き上げられた片桐先生の教育実践を受け継ぎ、新教育を展開する中で、新たなライブラリーとして生まれ変わることにあります。

『追手門学院130年の歴史と未来』と題した次回総会時の講演では、創立50周年までの四半世紀にわたり実務家校長として小学校を牽引された片桐実践をご紹介します。